

## 政策評価調書(26年度実績)

政策名	海外戦略の推進	政策コード	Ⅱ-5	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部、教育庁
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------------------

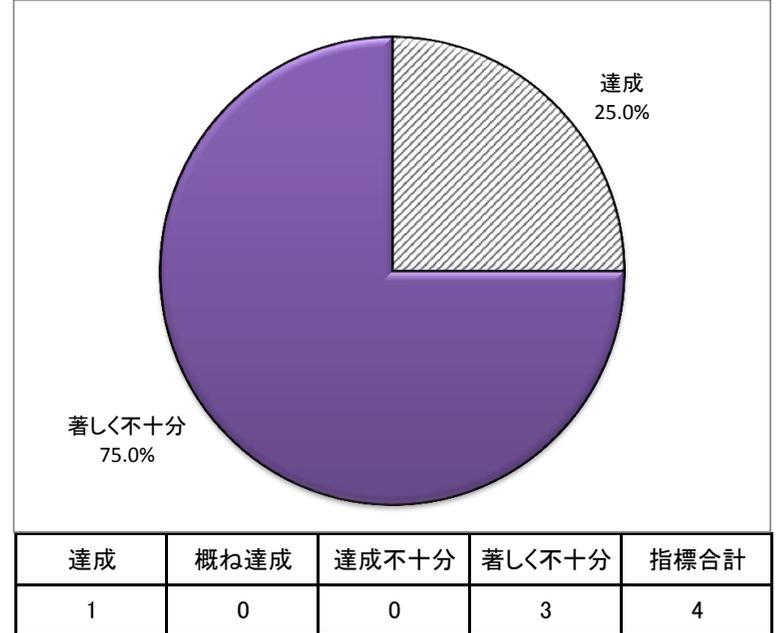
### 【Ⅰ. 政策の概要】

アジアの発展を大きなビジネスチャンスとしてとらえ、グローバルなものづくり拠点の構築や海外市場の開拓等によるアジアの活力の取り込み、留学生の能力を発揮できる仕組みづくり等によるアジアの人材の取り込みなどを進める。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	アジアに開かれた飛躍する県づくり	概ね達成	B
2	国際人材の育成	著しく不十分	C

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

国内では、少子高齢化や人口減少にともなう国内需要の縮小が懸念されている一方、経済成長が著しいアジアをはじめとする海外の市場拡大が期待されており、経済面において海外の活力や人材を取り込んでいくことが重要である。

グローバル社会の進展にともない、ビジネスや観光、文化、教育など多くの分野で訪日外国人が増加している。また、本県は、大学・高専において、人口当たりの留学生数が全国第2位となっており、それらのネットワークを築き、県政のあらゆる分野で活用していくことが重要である。さらに、国際理解・国際交流の促進や、外国人も住みやすい環境づくりなど多文化共生の推進も求められている。

グローバル人材に触れる機会、留学や海外大学への進学の際の機運醸成や情報提供の充実などにより、海外でも活躍できる国際人材の育成が必要である。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
留学生の県内企業への就職者数	50.0%
<b>&lt;著しく不十分となった理由&gt;</b> 企業の海外展開の拡大により、県外企業からの留学生の採用意欲が高まっていることに加え、留学生の出身国の給与水準の向上により帰国者が増加したことによる。	
留学生等との国際交流活動を実施した小学校の割合	74.7%
<b>&lt;著しく不十分となった理由&gt;</b> 調べ学習など国際理解に関わる活動をする学校は増えつつあるが、交通の利便性や教育課程編成上の優先順位の関係で、国際交流活動に取り組めていない小学校がある。	
訪日教育旅行受け入れ者数	67.2%
<b>&lt;著しく不十分となった理由&gt;</b> 韓国旅客船沈没事故を受け、韓国政府が7月中旬まで修学旅行を全て中止したことや、日中関係悪化に伴い激減した中国からの受入人数は現在も回復していない。	